

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和4年6月7日
宮古島地方気象台

令和4年5月28日に沖縄県宮古島市で発生した突風について（第2報）
～気象庁機動調査班による現地調査の報告～

5月28日6時30分から50分頃、沖縄県宮古島市平良（ひらら）荷川取（にかどり）から西仲宗根（にしなかそね）にかけて、被害をもたらした突風の種類は、竜巻の可能性が高いと判断しました。この突風の強さは風速約30m/s*と推定され、日本版改良藤田スケールでJEF0に該当すると判断します。

（1）突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻の可能性が高いと判断しました。

（根拠）

- ・被害域が明瞭な帯状分布であった
- ・激しい風はごく短時間であった
- ・「ゴー」という音の移動

（2）突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約30m/s*と推定され、日本版改良藤田スケールでJEF0に該当すると判断した。

（根拠）

- ・コンテナの横ずれ
- ・広葉樹（直径2cm～8cmの）枝折れ*
- ・鉄骨系店舗の屋根ふき材の浮き上がり又ははく離*

※コンテナの容量を確認した結果、推定風速を35m/sから30m/sに修正し、風速約30m/sの推定根拠を追加しました。

問合せ先：宮古島地方気象台 担当 糸村・大田 電話 0980-72-3054